

決算報告

令和7年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

歳出は、一般会計約48億6,349万円、特別会計約28億1,137万円、水道事業会計約3億8,278万円（収益的支出と資本的支出の計）、農業集落排水事業会計6,188万円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約81億1,952万円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は約53億2,422万円、前年度と比べて約1,875万円、0.4%の増加となりました。

増加となった主な要因は、町税や地方交付税などが増加したことによるものです。

町税は、約14億780万円で、前年度と比べて約1億182万円、7.8%の増加となりました。これは法人町民税及び固定資産税の増収に加え、個人町民税の定額減税の影響がなくなったことによるものです。

地方交付税は、19億1,080万円で、前年度と比べて約1億3,503万円、7.6%の増加となりました。これは国が

主導して整備・運用するガバメントクラウド関連の費用を算定した地域振興費等の需要額の伸びに伴う普通交付税の増加などによるものです。

一方で、町債は、中央公民館等の屋根及び外壁改修事業の完了に伴う借入金金の減少により、前年度と比べて約1億3,279万円、89.7%の減少となりました。

一般会計歳出

歳出決算総額は、約48億6,349万円で、前年度と比べて約8,312万円、1.7%の減少となりました。

減少となった主な要因は、物価高騰対策のために国庫補助金を受けて実施した低所得世帯支援給付金事業の縮小や、中央公民館等の屋根及び外壁改修事業の完了により、支出が減少したことによるものです。

なお、歳入総額53億2,422万円と歳出総額48億6,349万円の差額約4億6,073万円は令和8年度へ繰り越しました。

目的別の主な事業

総務費
○行政運営の効率化と将来的なシステム維持管理コストの抑

騰の影響を受けている町内の障がい福祉および介護サービス事業者へ、運営の継続と安定したサービス提供のため、給付金を支給しました。

○出生祝金支給事業、こどもの医療費支給事業、学童保育事業、子ども食堂応援金事業など、こどもまんなか社会の実現に向けた、子育て支援の充実に取り組みました。

○子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育園・幼稚園等を利用する園児の給食費無償化事業を実施しました。

衛生費

○町民の健康づくりを応援する健康増進事業や、こども家庭センターを中心に、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行いました。

○再生可能エネルギー設備や電気自動車等の購入費に対する補助制度を実施することにも、生ごみ処理容器「キエロ」の普及啓発、山並み連携ゼロカーボンシティ協議会のPR活動など、ゼロカーボンシティの実現に向けた各種事業を行いました。

○社会的な墓地不足に対応し、町民の安心や暮らしを支えるため、町営樹木葬墓苑「五大尊花木墓苑」の適切な運営と管理を行いました。

農林水産業費

○梅やゆずなどの特産品の魅力を広く発信したほか、新鮮な地元産品を味わう地産地消の推進に取り組みました。

○町の宝である梅を守るため、

制に向けて、業務システムの標準化やガバメントクラウドへの移行を実施しました。

○運転免許証自主返納の促進と高齢者の交通手段の確保などを目的に、タクシー・バス利用券を交付し、地域交通対策事業を行いました。

○町への移住や定住を増やすため、町で空き家を取得し、お試しで実際に暮らしていただける居住用住宅の整備をスタートしました。

○国の補助金を活用し、地域の防犯対策や犯罪抑止につなげるため、防犯用品を購入される際の一部費用を補助しました。

○令和6年度に実施した定額減税の調整給付において、金額に不足が生じた方に対して、不足額給付金を支給しました。

民生費

○越生町障がい福祉総合計画などに基づき、障がいのある方一人ひとりの自立と、地域での社会参加の促進に取り組みました。

○高齢化が進むなか、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、在宅福祉などの各種サービスを推進しました。

○国の補助金を活用し、物価高

○古池地内の橋戸川河川改修に向けて、調査・測量を行いました。

○親子連れをはじめとする多くの方がより快適に楽しめるよう、広場への芝の植栽など、川原田児童公園の整備を行いました。

○越生町営住宅長寿命化計画に基づき、町営仲町住宅の安心な暮らしを支える給排水管やガス管の改修工事を進めました。

教育費

○越生町教育振興基本計画に基づき、学校・家庭・地域の教育力向上や生涯学習を推進しました。

○学校給食費の保護者負担支援策として、小中学校の給食費全額無償化事業を実施しました。

○梅園小学校の校舎2階東側児童用トイレ及び多目的ルーム空調の改修を実施しました。

○公民館施設の適切な管理と利便性向上を図るため、空調や照明設備の修繕を行いました。

今後、「安心元元な越生町共に創る新しい未来！」をスローガンに掲げ、魅力あるまちづくりと住民福祉の向上のための施策を進めてまいります。

健全化判断比率等

令和7年度決算に基づき、財政健全化に関する比率を算出しましたのでお知らせします。

健全化判断比率および資金不足比率は、いずれの指標も早期

健全化判断比率

(単位：％)				
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	－	－	6.6	－
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

資金不足比率

(単位：％)			
特別会計名称	資金不足比率	特別会計名称	資金不足比率
農業集落排水事業会計	－	水道事業会計	－
経営健全化基準	20.0	経営健全化基準	20.0

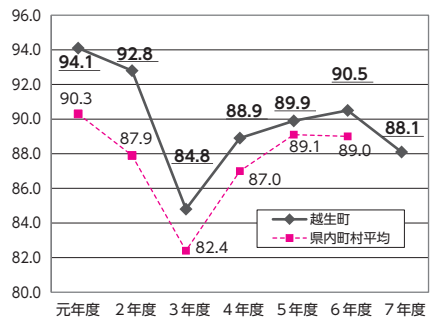
- ・実質赤字比率：一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- ・連結実質赤字比率：全会計を対象とした実質赤字または資金不足額の標準財政規模に対する比率
- ・実質公債費比率：一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- ・将来負担比率：一般会計等が負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- ・資金不足比率：各公営企業の資金不足額の事業規模に対する比率

	歳入	歳出	差引額
総 額	86 億 6,839 万円	81 億 1,952 万円	5 億 4,887 万円
一般会計	53 億 2,422 万円	48 億 6,349 万円	4 億 6,073 万円
特別会計	29 億 6,430 万円	28 億 1,137 万円	1 億 5,293 万円
公平委員会特別会計	29 万円	16 万円	13 万円
国民健康保険特別会計	13 億 4,265 万円	13 億 2,820 万円	1,445 万円
介護保険事業特別会計	13 億 9,201 万円	12 億 5,613 万円	1 億 3,588 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 2,935 万円	2 億 2,688 万円	247 万円
水道事業会計	収益的収支 3 億 880 万円	2 億 8,843 万円	2,037 万円
	資本的収支 460 万円	9,435 万円	▲ 8,975 万円
農業集落排水事業会計	収益的収支 6,639 万円	5,789 万円	850 万円
	資本的収支 8 万円	399 万円	▲ 391 万円

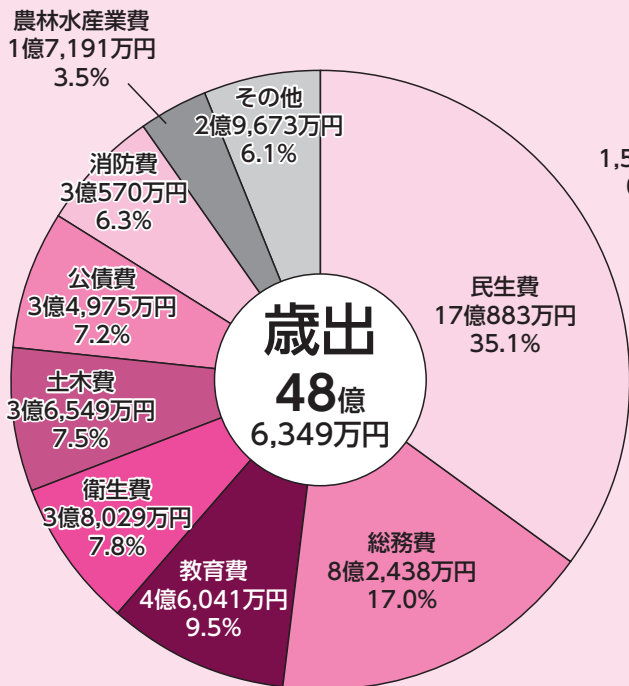
水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額8,975万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

会計別決算

経常収支比率の推移



歳出の状況



歳入の状況

